

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 藤森工業株式会社
 コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部門管掌
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

(氏名) 布山 英士
 (氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-6381-4211

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	71,492	8.9	6,621	14.1	7,210	14.0	4,658	16.4
26年3月期第3四半期	65,662	1.4	5,800	16.0	6,326	22.1	4,001	7.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 4,868百万円 (11.7%) 26年3月期第3四半期 4,358百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	243.11	241.69
26年3月期第3四半期	208.80	207.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	87,337	48,974	55.1	2,510.24
26年3月期	77,080	45,464	57.8	2,325.68

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 48,102百万円 26年3月期 44,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	23.00	—	33.00	56.00
27年3月期	—	28.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 26年3月期の期末配当金33円は、創立100周年記念配当金10円を含んでおります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,300	6.7	8,300	11.0	8,550	6.0	5,350	7.7	279.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ZACROS AMERICA,Inc. 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	19,267,760 株	26年3月期	19,267,760 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	105,148 株	26年3月期	105,070 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	19,162,662 株	26年3月期3Q	19,162,749 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国景気の回復が継続し、先行き不透明ながらも全体としては緩やかに回復する展開となりました。国内経済においては、政府の経済政策の効果などを背景に企業収益や雇用環境に改善がみられましたが、消費増税等の影響から個人消費の回復に力強さが欠けるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、情報電子事業、建築資材事業において大きく売上を伸ばし、またライフサイエンス事業では堅調に売上を確保するとともに米国新規連結子会社の売上も加わったことで増収となり、当社グループの売上は前年同期比で増加いたしました。

損益面では、新工場建設中の台湾連結子会社における固定費の先行、取得した米国連結子会社の経営改善に向けた施策に伴う費用などの影響があったものの、需要の動向を捉え売上を伸ばした情報電子事業での増収効果、並びにタイの連結子会社での大幅な収益改善など、グループ全体にわたり高付加価値製品の販売強化と生産効率の向上に努めたことにより、前年同期比で増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高714億92百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益66億21百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益72億10百万円（前年同期比14.0%増）、四半期純利益46億58百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

食品用包装材は受注が伸び悩み展開となりましたが、医薬・医療用包装材においてはジェネリック向けを中心に受注を確保し、売上増加となりました。また、生活用包装材の詰替用スタンディングパウチは、国内において堅調に推移するとともに、タイ連結子会社の生産本格化と拡販により売上を大きく伸ばしました。さらに事業譲受けに伴い米国連結子会社の売上を取り込んだことなどから、事業全体で前年同期を上回る売上を確保することができました。

この結果、売上高は332億77百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

(情報電子事業)

プロテクトフィルムについては、モバイル端末向けの工程用部材は受注が低調に推移する展開が続いておりますが、主力の偏光板向けでは、偏光板パネルサイズの拡大や旺盛な新興国需要を受けて大きく受注を伸ばしたことなどから、全体で増収となりました。剥離フィルムについては、末端製品のモデルチェンジの商機を捉え、受注を確保したことから売上は増加しました。情報記録用材は、モバイル端末向けを中心に大きく売上を伸ばしました。

この結果、売上高は290億78百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、住宅向けを中心に空調用配管並びに集合住宅向けポイドスラブ（床構造部材）の売上が引き続き好調に推移したことに加え、煙突工事の売上も増加いたしました。また土木関連においても、売上が前年を上回る展開となりました。

この結果、売上高は91億37百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が減少したものの、売上債権、有価証券、棚卸資産の増加に加え、台湾連結子会社の新工場建設に伴う有形固定資産の増加、事業譲受けに伴う無形固定資産の増加などにより、前年度末に対して102億57百万円増加の873億37百万円となりました。

負債については、長期借入金、未払法人税等が減少する一方、仕入債務や未払金が増加したことなどにより、前年度末に対して67億47百万円増加の383億63百万円となりました。

純資産は、少数株主持分7億1百万円を含めて489億74百万円となり、自己資本比率は55.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

非連結子会社であったZACROS AMERICA, Inc. は米国HEDWIN CORPORATIONから事業を譲受けたことにより重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。また、当該子会社は第2四半期連結会計期間に増資を実施した結果、新たに特定子会社に該当する事となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億85百万円増加し、利益剰余金が1億19百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,975	6,832
受取手形及び売掛金	26,660	32,385
有価証券	2,599	3,797
商品及び製品	2,390	3,063
仕掛品	1,212	1,227
原材料及び貯蔵品	1,630	2,011
繰延税金資産	773	435
その他	812	888
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	44,050	50,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,238	31,399
減価償却累計額	△16,963	△17,865
建物及び構築物 (純額)	14,274	13,533
機械装置及び運搬具	44,304	46,186
減価償却累計額	△36,134	△38,655
機械装置及び運搬具 (純額)	8,170	7,531
工具、器具及び備品	4,685	5,013
減価償却累計額	△4,137	△4,408
工具、器具及び備品 (純額)	548	605
土地	5,391	5,849
建設仮勘定	323	3,000
その他	18	18
減価償却累計額	△13	△15
その他 (純額)	5	3
有形固定資産合計	28,713	30,523
無形固定資産		
のれん	—	544
その他	220	781
無形固定資産合計	220	1,326
投資その他の資産		
投資有価証券	3,018	3,792
繰延税金資産	461	475
その他	658	622
貸倒引当金	△43	△40
投資その他の資産合計	4,095	4,849
固定資産合計	33,029	36,699
資産合計	77,080	87,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,074	23,824
短期借入金	855	855
未払金	1,918	3,282
未払法人税等	1,846	838
賞与引当金	1,324	699
役員賞与引当金	106	91
その他	1,023	2,499
流動負債合計	25,149	32,091
固定負債		
長期借入金	1,359	861
繰延税金負債	538	624
退職給付に係る負債	3,278	3,576
役員退職慰労引当金	479	491
その他	810	718
固定負債合計	6,466	6,271
負債合計	31,616	38,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	7,654	7,654
利益剰余金	29,380	32,756
自己株式	△109	△109
株主資本合計	43,525	46,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803	1,006
為替換算調整勘定	353	292
退職給付に係る調整累計額	△116	△98
その他の包括利益累計額合計	1,040	1,200
新株予約権	130	170
少数株主持分	767	701
純資産合計	45,464	48,974
負債純資産合計	77,080	87,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	65,662	71,492
売上原価	51,420	55,539
売上総利益	14,242	15,952
販売費及び一般管理費	8,441	9,331
営業利益	5,800	6,621
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	71	104
受取保険金及び配当金	50	93
為替差益	317	297
企業誘致奨励金	—	14
その他	138	123
営業外収益合計	583	636
営業外費用		
支払利息	19	13
売上割引	25	28
その他	14	5
営業外費用合計	58	47
経常利益	6,326	7,210
特別利益		
固定資産売却益	—	1
受取保険金	73	—
負ののれん発生益	—	88
特別利益合計	73	89
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	15	9
その他	—	2
特別損失合計	15	12
税金等調整前四半期純利益	6,383	7,287
法人税、住民税及び事業税	1,918	2,225
法人税等調整額	425	352
法人税等合計	2,343	2,578
少数株主損益調整前四半期純利益	4,040	4,709
少数株主利益	39	50
四半期純利益	4,001	4,658

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,040	4,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	206
為替換算調整勘定	127	△66
退職給付に係る調整額	—	18
その他の包括利益合計	317	158
四半期包括利益	4,358	4,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,303	4,818
少数株主に係る四半期包括利益	54	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,228	26,860	7,573	65,662	—	65,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	188	449	98	736	△736	—
計	31,417	27,309	7,671	66,398	△736	65,662
セグメント利益	1,447	4,128	224	5,800	—	5,800

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,277	29,078	9,137	71,492	—	71,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	207	502	66	776	△776	—
計	33,484	29,580	9,204	72,269	△776	71,492
セグメント利益	1,663	4,637	320	6,621	—	6,621

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、当社米国子会社であるZACROS AMERICA, Inc. が米国HEDWIN CORPORATIONから事業を譲受けたことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5億23百万円であります。